

ベージニオ錠を内服される方へ

- ベージニオ錠の内服を開始して**1週間前後**から下痢が現れる人が多いです。
- 下痢を予防するために、整腸剤（ミヤBM）を服用しましょう。
- 便の状態は、「**やや柔らかい便**」「**普通便**」が目標です。「**泥状便**」や「**水様便**」になれば、ロペラミド（止痢薬）を服用しましょう。

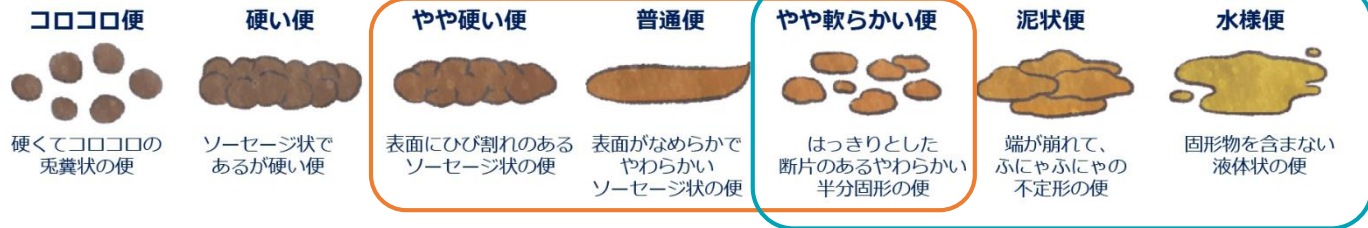
ベージニオを服用して、下痢（泥状便・水様便）が起きた場合

- 我慢せずに、**ロペラミドを1カプセル**服用してください
- 泥状や水様の下痢が**4時間経過しても治まらない時は、追加服用可能**です
その際、1回2カプセルに増量可能です
- 便が出にくい時は、ロペラミドの量の調節や中止をしてください



【目標】

【服用の目安】



※以下の症状がある場合、**ベージニオの服用を中止**して、**病院に連絡**をして下さい。
(裏面に連絡先記載)

- ロペラミドを1日3回服用しても下痢が続く
- 激しい腹痛や嘔吐、発熱
- 飲食が出来ない
- 血便・黒色便
- めまいやだるさが強い

下痢が続いている間は、**脱水を起こさないように**
こまめな水分補給を心がけましょう！

ロペラミドを**1カプセル**服用

4時間

ロペラミドを**1-2カプセル**服用

4時間

ロペラミドを**1-2カプセル**服用

4時間

病院に連絡する

下痢の状態に合わせたロペラミドの使い方（例）

「外出時に下痢が起こらないか不安な場合」



- ◆ いつでも服用できるように
ロペラミドを携帯する
- ◆ 外出する前に
ロペラミド1カプセルを服用する

「決まった時間に下痢が起こる場合」



いつも午前中に下痢が起こる場合は
朝食後にロペラミド1カプセルを服用する

ベージニオ錠を内服中は、**間質性肺疾患**に注意が必要です

- 間質性肺疾患は、息切れや咳、発熱などの症状がみられます。
- 間質性肺疾患は、急に重篤化して、死亡に至る可能性があるため、**早期発見**と**早期治療**が大切です

以下のような症状がみられた場合には、

ベージニオの服用を中止し、速やかに病院に連絡してください

⇒**息切れ、咳、発熱**

- 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする、息苦しくなる
- 空咳（痰のない咳）が出る
- 発熱する など



息切れや息苦しさが動いたときのみであったり、息切れや咳などがなく、微熱やだるさのみなど、一部の症状しか見られず、わかりにくい場合がありますので、注意してください。

ベージニオを服用して、**悪心(吐き気)** が起きた場合

- 我慢せずに、**ノバミン錠5mgを1錠**服用してください
- 吐き気がおさまらない場合は、**4時間あけて1日3回まで**内服可能です
- ベージニオ錠の内服を開始して、**10日～14日**で吐き気があられることが多いです
- 吐き気がある時は無理して食事をせず、食べやすいものを少量ずつとるようにしましょう
- 水分がとれないような吐き気や嘔吐が長く続くときは病院へ連絡してください

サポートプログラム（リリーお薬相談窓口について）

- LINEチャットによるご相談
二次元コードをスマートフォンで読み取ると、「リリーお薬相談窓口」の登録画面が表示されます
- お電話によるご相談：365日年中無休/9時～21時
0120-526-062



【サポートプログラム】

ベージニオ服用患者さん専用アプリ（NyuPage）

- 日々の体調を記録することで、副作用の状況を把握し、対処することをサポートするアプリです
- 二次元コードをスマートフォンで読み取ると、「NyuPage」アプリのダウンロードが表示されます



【NyuPage】

☆**緊急の連絡先** NHO 福山医療センター 084-922-0001（代表）

乳腺内分泌外科/薬剤部

2023年5月 作成